

手稲区の運営にあたって

手稲区では、区民が愛着と誇りを共有できる「ふるさと手稲」づくりを目指し、「郷土」「自治」「改革」の視点に基づき、積極的な取り組みを進めてまいりました。

その成果として、まちづくり活動を進めていくための、区民の皆さまと区役所との大変良好なパートナーシップが息づいていると感じております。

今後も、区民の皆さまとの協働はもちろんのこと、「小樽市」「石狩市」の両市との交流や情報交換など、さまざまな枠を超えて地域のまちづくりを考えると、もに、町内会組織・北海道工業大学などの地域連携による取り組みなど、今までの以上により多くの皆さまのご理解とご協力をいただきながら、地域力あふれるまちづくりに向けて取り組んでまいります。

皆さまのご協力をお願いいたします。

平成20年4月

手稲区長

小山 高史

ともに支えあう
ふるさと手稲づくり

◆安全・安心な地域づくりを推進します

安全・安心に暮らせる家庭や地域をつくることは、私たち一人一人の願いです。区民の皆さまとの情報共有を進めながら、地域や関係機関と協働して犯罪のない安全で安心なまちづくりのための取り組みを行うとともに、地域が取り組む活動を支援します。

また、平成20年度は「札幌市総合防災訓練」が手稲区で実施されます。防災関係機関や地域に、より密接な連携を図りながら、防災で育む「ふるさと手稲」づくりを目指します。



◆「まちづくりセンター」を通じた地域まちづくりを支援します

まちづくりセンターがコーディネート役となりながら、地域との協働により、課題の共有を進めるとともに、解決の手法を発信してまいります。また、地域のさまざまな人や団体の連携を促進するため、地域情報誌やホームページなどを通じ、情報発信の充実・強化を継続してまいります。

区役所は庁内横断的に、まちづくりセンターの支援を行ってまいります。

◆「ふるさと手稲」歴史発見事業を推進します

区民が愛着と誇りを共有できる「ふるさと手稲」づくりを行うため、区内の郷土史研究団体と連携し、データベース化した歴史的な資料のホームページ公開などを行い、皆さまが郷土の歴史に触れることができる環境づくりを目指します。

◆「ていねっていいね！区民の集い」を支援します

手稲区のまちづくりに携わる町内会や各種団体・グ

ループ、区民が集う「ていねっていいね！区民の集い」が行う平成17年度の「みんなで創ろう犯罪のないふるさと手稲」宣言に基づき取り組みを支援します。

また、平成21年度に区制20周年を迎えるにあたり、手稲らしさを活かした記念事業の準備を連携して行っています。

◆「小樽市」「石狩市」両市との交流を促進します

手稲区と隣接する「小樽市」「石狩市」両市との交流を促進し、相互に情報交換を行うことにより、区・市の枠を超えたまちづくりを推進してまいります。

安全・安心なまちづくりに向けた取り組みや、経済・文化・スポーツ交流などを通じて両市の住民とのさらなる交流促進を支援してまいります。

◆北海道工業大学との連携を行いまちづくりを推進します

平成20年3月18日に手稲区連合町内会連絡協議会、北海道工業大学及び手稲区の三者が、「地域連携協定」

を締結し、大学がこれまで培ってきた知的資源を地域のまちづくりに活かすなどの連携や、地域と学生との交流をさらに進めていく環境が整えられました（詳細は本誌区版10ページ）。

今後は、この協定に基づいて、お互いの理解を深め、高めあい、協力しあう関係を築き、「愛着と誇りの持てるまちづくりの推進・人材育成」に向けての取り組みを進めてまいります。

◆「手稲山雪の祭典」を開催します

手稲区のシンボルである手稲山を会場に雪と親しむイベントを開催し、区民の連帯意識の醸成と冬の生活を楽しむ文化の創造を進めます。

